

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

平成30年度

法人名	社会福祉法人 正清会	代表者	三好 正規	法人・ 事業所 の特徴	同じ場所で顔馴染みの利用者と職員同士が、通いを中心に訪問や宿泊といった支援により、継続的に関わる中で一人ひとりに寄り添い、気持ちに向き合い暮らしの中に見えぬような支援致します。介護する者、介護される者の関係ではなく「共に生きる」事を目指します。
事業所名	多機能ホーム 遠波の里 白松苑	管理者	村田 妙雪		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	5人	7人	人	1人	1人	人	2人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・研修内容を分かりやすく見直し理解する。	・理念、事業所の役割や地域資源について分かりやすく説明、研修をおこなった。 ・研修で知り得た事を実践で活かさきれていない。	・改善策が皆一緒が多い。 ・「～したい」の実現については、日頃の様子で判断するしか無いでしょう。 ・出来ているかどうかは、文章だけで判断するのは難しいと思う。実際に利用してみないと	・ご本人、家族と話しやすい関係作りに努める ・職員のスキルアップ ・プライバシーの保護に努める
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域の関わりシートの内容を分かりやすい様見直す。	・関わりシートを一部変更している。 ・気軽に来て下さいと言われるが実際には、職員の皆さんは忙しく働いておられるので、申し訳なく入りにくい	・関わりシートの中でどう判断して良いか分からない箇所がある。	・気軽に入りやすい雰囲気を作る ・関わりシートの見直し
C. 事業所と地域のかかわり	・民生委員の集まりに広報誌を配布する ・今後とも地域の行事に出来る限り参加する。	・地域社協を通じ民生委員の方へ広報誌を配布している。 ・地域行事に参加している。 ・地域に出向く事で施設のアピールに繋がった。	・民生委員と各地域のケアマネ及び事業所との関わりの充実が求められる	・民生委員の方との交流 ・地域行事に参加 ・依頼があれば、地域に出向く(笑いヨガ・認知症対応 等) ・佐山保育園との関わり
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者の住んでいる地区の民生委員の方と交流する機会を持つ	・施設見学があった。	・利用者以外の心配な近所の方との関わりについては、どうか→介護相談や利用者紹介はあるが現在は、ない。	・家族及び地域の方から本人と地域との関わりの情報収集をする
E. 運営推進会議を活かした取組み	・今後も運営推進会議を開催し地域の方と交流し情報交換や意見を頂く	・嘉川地区の民生委員の方も参加して頂く事ができた。 ・サービスの利用状況の説明や活動報告を行い、情報交換や意見を頂いている。	・身内も施設を利用しているが、寄り添う事が大事だと教えてもらっている。	・今後も運営推進会議を開催し地域の方と交流し情報交換や意見を頂く
F. 事業所の防災・災害対策	・地域の防災訓練に参加する ・防災訓練をし意識を高める	・地域で防災訓練がある時は、参加している。 ・防災訓練を実施している	・今年は、佐山地区の防災訓練は無いが、こちらでは、どうしているか →年3回防災訓練を行っている	・運営推進会議の場で、防火訓練を実施する

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30年 10月 25日 (18:00~20:00 )
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	村田・河村・永島・藤本・上野・畑谷・井上・今地・鶴田・藤村・兼氏

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	1人	人	11人

前回の改善計画	<p>*家族ともご本人の事で分からない事があれば積極的に聞く。 *各個人が意識を持って情報交換を行い情報の共有を図る。 *些細な事でもメモに残し日々の変化に気付ける様にする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・知り得た情報を連絡ノートに記入し職員間で声を掛け合い、積極的に情報共有するよう心がける事が出来るようになった。</p>

## ◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1人	5人	5人		11人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人	6人	3人		11人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4人	6人	1人		11人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	8人	1人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・本人や家族の訴えを傾聴し相談できるように努めた。 ・利用回数が浅い段階では、本人が安心できるような声掛けを行っている。</p>

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・本人のニーズ、生活歴が把握できておらず、どのように関わって良いか分からない事がある。 ・本人を支える為の家族や介護者との関係作りが不十分で、困り事等、気持ちの面で支えられていない。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>・一人一人何が必要か、何を求めているか話を聞き支援・実施する。 ・自宅での様子や生活歴などを聞き出せるよう本人や家族との関係作りに努める。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 25日 (18:00~20:00 )

2. 「～したい」の実現  
(自己実現の尊重)

メンバー 村田・河村・永島・藤本・上野・畑谷・井上・今地・  
鶴田・藤村・兼氏

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	3人	人	11人

前回の改善計画	
*家族ともご本人の事で分からない事があれば積極的に聞く。 *利用者の変化を記録に残す。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・いつもと様子が違ったり、行動を観察し変化があれば記録に残したり口頭で伝えていた。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7人	4人		11人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6人	5人		11人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6人	5人		11人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2人	4人	5人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・関わった内容を会議で振り返り、問題点があれば意見を求め課題とし話し合っている。 ・その時々様子を記録に残すよう心がけている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の目標や「～したい」を開き出せていない。 ・職員不足もあり、関わりに偏りがでている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・日常の会話の中で、どう思っているのか、何がしたいか知る努力をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 25日 (18:00~20:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 村田・河村・永島・藤本・上野・畑谷・井上・今地・鶴田・藤村・兼氏

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	4人	人	11人

前回の改善計画	
*家族の方とのコミュニケーションを図る。 (生活状況・環境聞きとる)	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・現在の状況を送迎時、面会、連絡帳などで家族とコミュニケーションを図っている。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2人	9人		11人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3人	7人	1人		11人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6人	5人		11人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	6人	2人		11人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	2人	8人	1人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人のペースに合わせたケアが出来ている。 ・本人の気持ちや体調の変化に気付けるよう意識し関わり、寄り添ったケアが出来るよう心掛けている。 変化に気付いた際は、職員間で情報共有している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・以前の暮らしや本人のニーズを把握できていない。 ・老々介護や、家族と会う機会が少ない方とは、情報提供が少なく生活環境を知る事が難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・近況や世間話だけでなく、生活歴等の会話もしていく。 ・家族の方とコミュニケーションを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 25日 (18:00~20:00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 村田・河村・永島・藤本・上野・畑谷・井上・今地・鶴田・藤村・兼氏

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	4人	人	11人

前回の改善計画	
*職員一人一人が気をつけ個人情報を収集、把握する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・ 家族から知り得た情報を連絡帳に書き情報共有している。 ・ 家族と会う機会が少なかったり意思疎通が難しい場合は情報収集が難しい。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2人	5人	4人		11人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	2人	6人	2人	1人	11人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8人	2人	1人	11人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5人	5人	1人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 本人がどのように生活されているか把握できている。 ・ 地域行事やいきいきサロンに通われる事を優先に考える事が出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・ これまでの本人の暮らしぶりや考え方等、把握できていない。 ・ 通いや泊りの多い利用者は、地域との関わりが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ 家族から本人と地域の間わりの情報収集をする。 ・ 事業所が接していない時間、どのように生活されているか、どのように地域と関わり過ごされているか把握する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 25日 (18:00~20:00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 村田・河村・永島・藤本・上野・畑谷・井上・今地・鶴田・藤村・兼氏

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	4人	1人	11人

前回の改善計画
*利用者に対するコミュニケーション・対応の仕方のスキルアップを図る。 *地域資源の把握に努める。 *口コミでボランティア等、新しい者の繋がりを探していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・不安を訴えられる時には、寄り添い安心して頂けるよう声掛けしている。 ・新しい者の繋がりが出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2人	6人	2人	1人	11人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が適切に提供されていますか?	6人	4人		1人	11人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3人	7人	1人		11人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3人	7人		1人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の状態、ニーズに合わせて柔軟な支援が出来ている。 ・ボランティアに来て頂き、利用者の方に楽しんで頂くと共に地域の方と顔を合わすきっかけになっており、地域との繋がりを築く良い場になっている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・一人一人の地域資源を把握できておらず、活用ができていない。 ・事業所のみで、支えようとする事がおおい。 ・地域の方に、もう少し事業所を利用して頂けるようにしたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者支援する上で、その方が活用できる地域資源がないか探してみる。 ・地域資源を活用し、本人が満足出来るような暮らしが継続できるよう支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 25日 (18:00~20:00 )

6. 連携・協働

メンバー 村田・河村・永島・藤本・上野・畑谷・井上・今地・鶴田・藤村・兼氏

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	2人	人	11人

前回の改善計画	
*今後も地域との連携を継続していく。 *地域に開けた事業所にする為にアピールしていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・地域に事業所のアピールを続けているが、来られる方は決まっている。 ・地域から依頼を受け出向く事で、事業所をもっと知ってもらえる。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3人	7人	1人		11人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5人	4人	2人		11人
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	3人	7人	1人		11人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3人	5人	3人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の活動に参加し、関わりを持ち情報交換出来ている。 ・他の機関との連携を図れ、対応できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・ボランティア行事の時、地域の方が数名参加されているが他の時は、なかなか訪問が無い。 もっと誰でも来られるような、場所作りをする。 ・高齢者の方は、時々来られるが、子供の訪問は少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域の子供達や保育園等の慰問を求める。 ・今後も地域行事に参加し地域と関わりを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 25日 (18:00~20:00 )

7. 運営

メンバー 村田・河村・永島・藤本・上野・畑谷・井上・今地・鶴田・藤村・兼氏

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	2人	人	11人

前回の改善計画	
*会議などで事業所の在り方や地域に出来る事を話し合っていく。 *今後も地域から必要とされる拠点であり続けられる様、地域と協働した取組みを行っていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・会議などで事業所の在り方は、話し合いができています。 ・地域から要望があれば出向いているが、拠点という面まで達していない。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	3人	5人	2人	1人	11人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人	6人	2人		11人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	7人	2人		11人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2人	5人	4人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員会議で意見を出し合っている。 ・利用者家族からの意見を頂いた場合は、運営に生かせるように話し合ってきた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所が地域の中でどうあるべきなのか、話し合いができていない。 日頃の連絡事項で、話が終わってしまう。 ・地域から遠波の里の利用を是非との声が掛らない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・今以上に事業所を必要とされるような取組みを考える。 ・地域との関わりについて、話す機会を設ける。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 25日 (18:00~20:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 村田・河村・永島・藤本・上野・畑谷・井上・今地・鶴田・藤村・兼氏

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	人	人	11人

前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果
*今後も苑外・内研修に参加し資質の向上に努めて行く。 *研修内容を知らせ興味のある物に参加していく。 *月1回の職員会議に全員参加を呼びかける。	・苑外の研修に参加できている。 ・職員会議の全員参加は、難しいが復命はきちんと読まれている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4人	6人		1人	11人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4人	6人		1人	11人
③ 地域連絡会に参加していますか	2人	7人	1人	1人	11人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	4人	6人		1人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・必要な研修に参加し、資質の向上に努めている。 ・リスクマネジメントに努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・介護経験の無い職員に対し、指導が徹底できていない。 ・自分に足りない物、学びたいものを明確に考えておらず自ら申し出ていない。 ・研修で知り得た事を、実践で活かしてきていない。 ・月1回の職員会議には、全員参加し意見や考えを述べて欲しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員一人一人に興味のある研修内容やスキルアップの為、参加したい研修があるか聞いてみる。 ・自分に足りない事や学びたいものを考え、どんな研修があるか調べてみる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 25日 (18:00~20:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 村田・河村・永島・藤本・上野・畑谷・井上・今地・鶴田・藤村・兼氏

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	1人	人	11人

前回の改善計画	
*個人のプライバシーについて、職員間で注意・意見し合えるようにする。 *利用者の方の心情に配慮し個人の情報は事務所の中で話すよう努める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・個人情報、事務所の中で話すよう努めた。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	11人				11人
② 虐待は行われていない	11人				11人
③ プライバシーが守られている	7人	3人	1人		11人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3人	4人	3人	1人	11人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	7人	3人	1人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員一人一人が、利用者の尊厳を大切に、寄り添う気持ちでケアに当たれている。 ・個人情報は、事務所内で話し、プライバシーの保護に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の方と同じ空間にいる事が多いので、他の利用者の居られる所で、違う利用者の事を話してしまう事があるので声のボリュームに配慮したい。 ・業務中バタバタし「それはダメ」などスピーチロックになる時がある。 ・言葉の配慮が足りない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・言葉の使い方、相手に対しての配慮の仕方を考える。(コミュニケーションスキル) ・今後もプライバシーが保てるよう、事業所の中で話をするようにし声の大きさにも気を付ける。 ・気持ちに余裕を持ち、利用者と接するようにする。	